

かみすながわ

# 議会だより

発行 上砂川町議会 / 編集 議会活性化特別委員会

地域を支える皆さん



今回の表紙 ～消費者協会総会～



消費者協会は今年で結成55年を迎えました。会員および町民の皆様が消費者トラブルに遭わないよう日々啓発活動を行っています。春秋の研修旅行や新年会などお楽しみも満載。あなたも活動に参加しませんか(^o^)

～ 掲 載 内 容 ～

- \* 主な議会政務報告・・・・・・・・・・ 2P
- \* 一般質問と答弁内容（要旨）・・・・ 3P
- \* 地域おこし協力隊活動報告会・・・・ 4～5P
- \* 行政常任委員会・予算特別委員会報告・・・ 6P

**第36号**

令和8年6月1日発行

## 主な議会政務報告

令和8年3月以降～

年月日	会議行事名	場所	出席者	
R8 3	5 自衛隊田端中隊長異動挨拶	役場	議長	
	6 滝川駐屯地修親会・自衛隊協力会合同送別会	滝川市	議長	
	9～17 第1回上砂川町議会定例会	議事堂	全議員	
	9 全員協議会	議事堂	全議員	
	10 議会運営委員会	役場	全委員・議長	
	11 行政常任委員会	役場	全委員・議長	
	12 上砂川中学校卒業式	上砂川中学校	副議長 議会運営委員長 行政常任委員長	
	13 予算特別委員会	議事堂	全委員・議長	
	17 行政常任委員会	役場	全委員・議長	
		議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員
	19 中央小学校卒業式	中央小学校	副議長 議会運営委員長 行政常任委員長	
	26 地域おこし協力隊及び集落支援員活動報告会	役場	議長他4名	
4	1 人事異動等発令式	役場	議長	
	8 中央小学校入学式	中央小学校	議長・副議長 議会運営委員長 行政常任委員長	
		上砂川中学校入学式	上砂川中学校	副議長 議会運営委員長 行政常任委員長
	14 議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員	
	16 行政常任委員会	役場	全委員・議長	
		議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員
	20 当選証書付与式	役場	議長・副議長	
	23 町長就任式	役場	議長・副議長	
	27 第97回上砂川地区メーカー集会	産業活性化センター	議長	
	28 第2回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員	
		消費者協会定期総会	町民センター	議長
		議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員
5	7 議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員	
	8 中空知町議会議長連絡協議会第1回定期総会	浦臼町	議長	
	11 第3回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員	
		行政常任委員会	役場	全委員・議長
		議会活性化特別委員会	役場	伊藤議員・笹木議員 藏根議員・石田議員
	17 栗山町議会基本条例制定20周年記念事業	栗山町	議長・小澤議員 笹木議員	
	19 副町長退任式	役場	議長	
		上砂川町認知症老人と共に歩む会総会	町民センター	議長
	21 上砂川町老人クラブ連合会総会	役場	議長	
	26～27 町村議会議長・副議長研修会	東京都	議長	
	29 上砂川中学校体育祭	上砂川中学校	議長・副議長 行政常任委員長	
	30 中央小学校運動会	中央小学校	議長・副議長 行政常任委員長	

令和8年第1回定例会

一般質問

議席番号3番

笹木 笑子



質問要旨

『共生社会の実現は』

町民にとっても国際社会を見据えた人材を育てていく上で外国人のためだけのものではなく、双方にとって安心して暮らし、働き、地域の一員としての定着は働き手の確保にとどまらず地域の存続、多様性に富んだ社会の実現に向け重要と考える。

①言語・文化の違いを踏まえ、共に安心して暮らせる環境づくりのための体制構築について

②災害発生時、緊急時に安心して行動できるよう、どのような支援や情報発信を想定しているのか

答弁要旨

外国人登録者は、2月末日時点41名で、殆どが特定技能制度により就労している。インドネシア、ベトナム国籍が約9割、4か国の方が生活され、年々増加している。地域経済を支える上で欠かすことのできない存在となっている。一方で、言語や文化・生活習慣の違いから生じるさまざまな課題への対応が求められており、外国人住民と地域住民がともに安心して暮らせる多文化共生社会の実現は、重要な課題と捉えている。

1点目の地域社会に溶け込み、安心して生活するためには、行政と地域が一体となった環境整備が必要と考え、3月15日、「まちの駅ふらっと」において集落支援員が中心となり、居住する外国人を対象とした、地域のつながりづくりの第一歩として、

「上砂川町外国人交流会」を開催し、23名の参加者が親睦を深めた。将来的にはサポートネットワークの設立を目指している。日常生活における言語の壁を解消するため、英語表記の品名別ごみ分別一覧を作成中であり、引き続き多言語での情報提供の充実を図り、地域とのつながりが重要であることから地域の行事やお祭り等にも積極的に参加いただけるよう、主催団体の協力を得ながら取り組んでいきたい。

2点目は、町ホームページや公式LINE及び登録制メール等の運用により、災害情報の発信に取り組んでおり、本年4月から新たに運用する防災行政無線での情報発信など、情報伝達手段の多様化を推進している。

町ホームページも、英語やインドネシア語を含む6か国語での対応が可能であり、新たな外国語表記の追加できることから、外国人住民への情報発信においても有効な手段と考える。避難場所等の周知は、主に受け入れ事業所を通じた対応に委ねてい

る部分が多く、今後は平時から顔の見える関係づくりを進めるとともに、各事業所とも協力的体制を整えて行く。他自治体の取り組みも参考にしながら、多言語対応を含む緊急時の情報伝達方法も検討して行きたい。多様な文化をお互いが理解し合い、人権が尊重される友好的な関係の構築と支援体制の整備に努める。

再質問

①子ども達の国際感覚を育てる視点は？

②防災訓練への参加の促しは？

再答弁

①共に暮らす子ども達が大事という点については検討する

②事業所とも連携実施に向け検討する

※多文化共生社会とは

国籍や民族、言語、宗教などが異なる人々が、お互いの違いを認め合い、対等な立場で共に地域社会を築いていくこと。互いに尊重し合い、安心して暮らせる地域づくりを目指す理念です。

# 地域おこし協力隊活動報告会

## ～協力隊の想いにふれて～



高橋 成和

### - 協力隊と町の未来 -

協力隊はそれぞれの得意分野で町の活性化に貢献していただいておりますが、町が今後目指していくところとリンクして、食、ものづくりと観光、防災とたいへん優秀な人材に町や地域に入りこんでいただき活動していただいております。

私たちが今後考えなければならないことは、優秀な隊員の方々を3年の任期が終えたあとも上砂川町に住んでいただき起業して業績を伸ばしていけるよう住民をまきこんだ支援体制が今後も必要なのかと思います。現在定期的に開催される上砂川マルシェを今後も発展させていくことが大切ですし、協力隊を応援していく思いを持った人が集える新たな団体を町民、町外の方からも公募して発足していくことが必要かと感じています。

### - 熱意 -

初めに町と協力隊のパイプ役を担っている「地域プロジェクトマネージャー」の勝長氏より協力隊を定着するための提案があり、その後順番にそれぞれの協力隊による活動報告がありました。

各々の目標を持ちそれを実現する為の計画、現在の状況等を分かり易くまとめた素晴らしいプレゼンばかりで、いかに上砂川に貢献できるかを真剣に考えてそれぞれが、我々では気が付かない視点で町の魅力をどう具体化するかを提案するものばかりで、隊員全員が真剣に町を思い上砂川の未来に向け明るく元気にする為に考えているのを感じ感動を覚えました。私も彼らから素晴らしい刺激をもらい、気持ちを新たにしました。



吉川 洋

### - 町を盛るチカラ -



伊藤 充章

西田さんが企画する「旅するはらぺこレストラン」はとても楽しみです。試供品として頂いた加納さんの焼き菓子は非常に美味で、二人とも自分の店を持つことを目標とされ、吉田さんは手作りならではの温かみを感じる木工とレザークラフトで町のお祝い品の開発やふるさと納税の返礼品の提案をされ、谷口さんの目指す「ドローン特区」は、実現すればその実証実験の為に様々な業種がこの上砂川に集い、そこから様々な横の繋がりが生まれて新たな事業が起こる事が期待されると感じました。皆それぞれの持つ経験と技術を生かして上砂川町を盛り上げつつ、各々の目標に向かって着実に進んでおられると感じた活動報告会でした。

### - 駆け巡るビジョン -



藏根 高史

協力隊の皆様日々の活動お疲れ様です。各隊員共に現状の上砂川のニーズに沿ったしっかりとしたビジョンを描いておられました。

中でも家具職人の古田隊員、ドローン操縦を主とする谷口隊員はそれぞれ独特の視点から、事業計画が具体的に語られ、退任後のビジョンに上砂川を盛り立てていこうという意気込みを感じました。

十分に上砂川の未来への希望を託せる内容だったと思います。微力ながら私も環境整備や皆さんの活動の内容を、少しでも広めるお手伝いできればと思っています。知らない土地、知らない人の中に飛び込んで限られた期間内に成果を見出すことは並々ならぬ努力や苦労やあると思いますがこれからも頑張ってください。

### - 熱い思いに『ワクワク』 -

自分の活動に誇りと自信を持った活動報告は、渴き気味のココロと錆付気味のアタマに多いに刺激を貰えた。熱い思いを持ち、各々の得意を活かした活動は本町にはない、外からの力として「人・食・モノ」に出会わせて貰っている。

そんな協力隊の活動は子ども達には夢や可能性を、高齢者には元氣と安心を育み、さらなる町の活性化に繋がると期待している。

それぞれの活動が隊員、町民双方の糧となるように・・・卒業後も本町で活動し続けたいと思えるように・・・知恵を出し合いながら、支援体制作りに取り組んでいくことが大切と考える。この小さな町で大きく羽ばたいて下さい。応援しています。



笹木 笑子

### - 新しい風 -



小澤 一文

上砂川で活躍する地域おこし協力隊と集落支援員の活動報告会に参加しました。自身の起業への取り組みと活動の中にも上砂川を盛り上げて行きたいとの強い思いをひしひしと肌で感じる事ができた報告会でした。この彼らの活動に敬意を表すると共に改めて感謝を表するものです。

これからも若い力と行動力で、上砂川に新しい風を吹き込んで欲しいと思います。そして、彼らに負けないよう私も微力ながら議員として活動をして参りたいと決意させていただきました。本当に有り難うございました。

### - 地域のぬくもり -

革製品や木材を使った商品を販売していきたいという話に加え、陶芸にも興味があり、自分の作品づくりにも取り組んでいきたいという考えが示されました。地域の素材や手仕事の良さを生かしながら、日常で使いやすいものや贈り物として喜ばれる商品へつなげていきたいという思いが伝わってきました。ものづくりに対する熱意や、自分らしい形を作っていこうとする前向きさを感じられ、印象に残りました。革や木材、そして陶芸は、地域らしさや温かみを表現しやすく、今後の展開にも期待が持てる分野だと思います。私自身も、地域の魅力を伝える取り組みとして応援していける可能性を感じており、今後の活動を楽しみにしたいと思います。



石田 浩二

## 行政常任委員会報告

○3月11日(水)に行政常任委員会を開催しました。

①「第1回定例会に提出された議案」

②「上砂川町新型インフルエンザ等対策行動計画(改訂版)」議案、各種事業の遂行状況等についての調査と説明を求め、質疑が行われました。

(笹木 笑子)

## 予算特別委員会報告

○3月13日(金)令和8年度予算特別委員会において

・議案第17号 令和8年度一般会計予算

・議案第18号 令和8年度国民健康保険特別会計予算

・議案対19号 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算

・議案第20号 令和8年度水道事業会計予算

・議案第21号 令和8年度下水道事業会計予算

以上の審議を行いました。

新年度4月に上砂川町長選挙を控えた段階での予算編成で、一般会計予算については新規の政策的経費を極力抑え、人件費や扶助費、公債費義務的経費と

継続事業など最低限必要な経費を計上した通称骨格予算の審議となりました。

結果、慎重審議の上認定すべきものとし、17日(火)の本会議で報告致しました。

(藏根 高史)

今回お届けします議会だよりの編集は4月に行われました。編集委員が何度も集まり、少しでも良いものにして多くの皆様に読んで頂けるように意見を

出し合いながら進めています。さて、この時期は新たなスタートを迎える時期です。

3月には中央小学校・上砂川中学校の卒業式、4月にはそれぞれの入学式が行われました。

児童・生徒たちが期待を胸に、人生の一步を踏み出す姿を見て

その頼もしさに涙が溢れてしまいました。

上砂川町も4月に行われた上砂川町長選挙において奥山光一町長が再選され、第21期町政がスタートしました。

自主財源が乏しく、地方交付税への依存度が高い厳しい環境にある中で、時代の変化を見据えつつ、人口減少・少子高齢化対策、さらには地域経済の活性化など本町に山積する様々な課題に対する手腕を発揮されること

が期待されます。

継続事業を含め、今後の様々な政策を町長一人に委ねるのでなく、我々議会も一丸となって取り組み、上砂川町の新たな一步を踏み出したいと思うところで

(4月末日 伊藤 充章)

### 議会広報誌の編集委員

伊藤 充章・笹木 笑子  
藏根 高史・石田 浩二

## 令和8年第2回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議会日程：6月17日(水)～19日(金)

○傍聴可能日：17日・19日

